

2018年1月5日

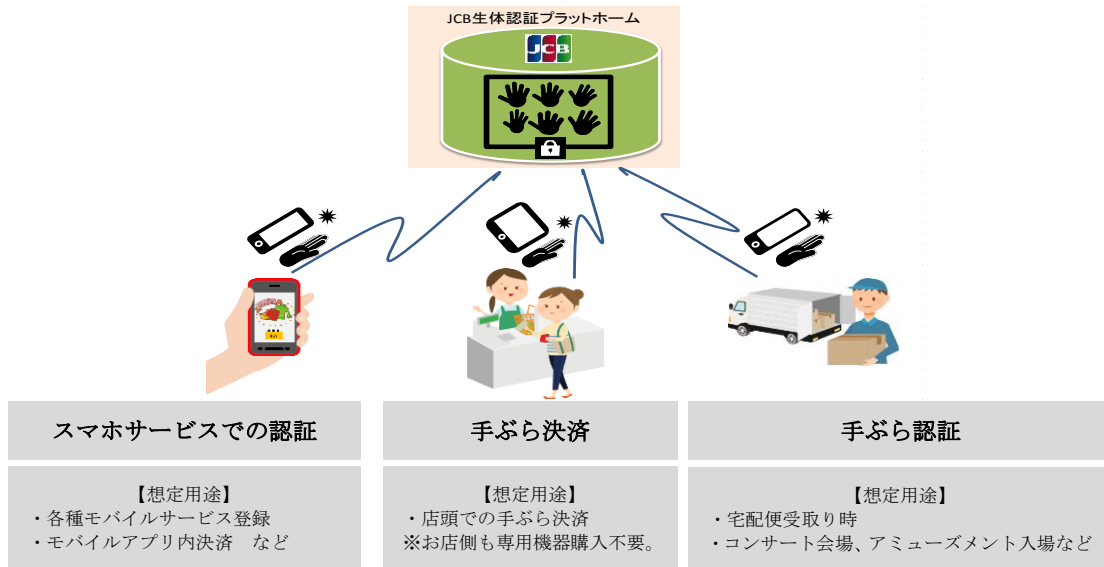
<報道関係各位>

株式会社ジェーシービー

JCB、生体認証基盤を用いたマルチサービスの実証実験を開始

～可視光手のひら認証技術を用いた認証・決済スキームの導入を検討～

日本発唯一の国際カードブランド運営主体である株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役兼執行役員社長：浜川 一郎 以下、JCB）は、ユニバーサルロボット株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役：岩田 英三郎 以下、UR社）、国立研究開発法人 産業技術総合研究所（理事長：中鉢 良治 以下、産総研）との共同研究により、可視光手のひら静脈認証技術を用いたサーバー型マルチサービス（以下、本サービス）の実証実験を2018年2月にJCB青山本社内にて実施いたします。



本実験では世界最高レベルの認証精度（他人受入率1000億分の1（注））を誇るUR社の可視光手のひら認証技術（掌紋検索+静脈認証）を用い、①スマホでの登録、②サーバーへの保管、③認証、④スマホへの認証結果返却の流れが想定どおり行われるか技術面を中心に検証します。今後、一度自分のスマホで手のひら情報をサーバーに登録すれば、再度登録することなく、さまざまなサービスで認証技術を活用できるよう検討します。

今後もJCBは、お客様の多様なニーズにお応えするため、便利で安全なJCBならではのサービスの開発に取り組んでまいります。

<本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先>
株式会社ジェーシービー 広報部広報グループ TEL:03-5778-8353

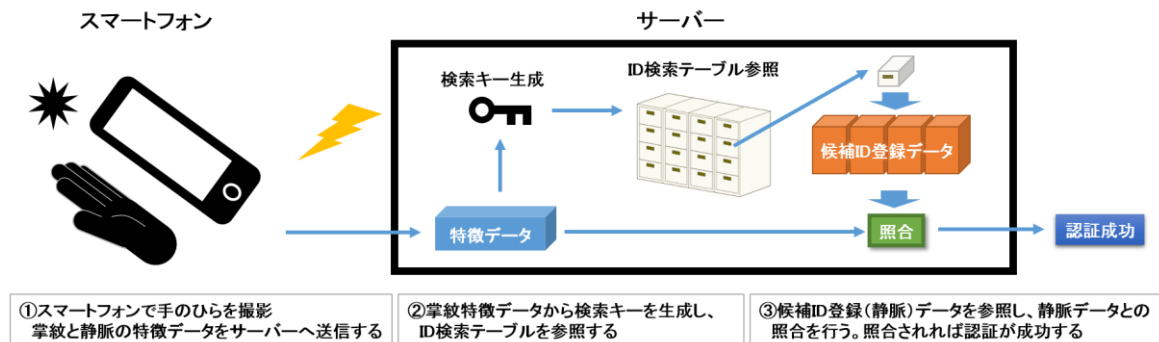
別紙：「可視光手のひら認証」について

一般に静脈認証は近赤外線を照射して静脈パターンを取得するのに対して、UR 社の掌静脈認証技術は可視光で静脈パターンの取得が可能です。スマートフォンのカメラで静脈認証ができる利便性に加え、他人と間違える可能性が 0.0003%という高い認証精度を持っています。日本・米国をはじめ世界各国で特許を取得している技術です。

今回の実証実験で利用される「可視光手のひら認証」は、この掌静脈認証技術に加え、登録データベースから本人の掌紋を検索する新規開発技術を組み合わせることで実現します。

掌静脈認証技術と、高い検索性能を持つ掌紋検索技術を組み合わせることにより、世界最高レベルの認証精度を誇ります。

(注) 他人受入率 1000 億分の 1 は、掌静脈認証技術 (0.0003%) と、掌紋検索技術 (0.0003%) を掛け合わせた場合の計算上の最高性能を現しています。



以上

＜本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先＞
株式会社ジェーシービー 広報部広報グループ TEL:03-5778-8353